ベトナム赤十字 タイグエン省での贈呈式



2020年1月13日、ベトナム首都のハノイから北に車で2時間程度の距離にあるベトナム北部のタイグエン省のタイグエン整形外科病院で車椅子の贈呈式を開催しました。当会から桑山 昭 理事夫妻とベトナムで当会の活動を支援してくれているグエン・ヒュー・ロン氏が出席しました。



ベトナム タイグエン省にある整形外科病院



このような建物が複数ある病院





会場はプロジェクターで式典のタイトルが表示され、車椅子が並べられていました。

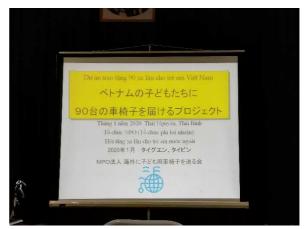




司会の開催案内に続いて、DANG MINH TIEN 氏(中央ベトナム赤十字の社会業務部の部長)が挨拶に立ちました。このプロジェクトのベトナム赤十字側の最高責任者と思われます。以下が、その発言のポイントです。

- ・今回の贈呈式はタイグエン省の3回目です。前回は海外に車椅子を送る会の会長が来ました。
- ・今回はタイグエン省に33台を出します。車椅子は中古品ですが、これは日本製で、皆さん (日本人、在日ベトナム人など)で掃除、メンテをしてから海外に送って貰いました。車椅子は非常に 立派なものであり、この活動は有意義な活動だと思います。今後も継続してもらいたいと思います。
- ・タイグエン省には観光地があります。また、お茶はここの特産物です。時間があれば、タイグエン 省の観光地を是非とも見て帰って欲しいです。
- ・改めて送る会に感謝を申し上げます。





桑山理事から日本での当会の活動を紹介しました。また、車椅子を大切に使って欲しいこと、空気は十分に入れて使用すること、故障したり体に合わなくなったら赤十字に相談をしてほしいなどを要請しました。





- (左) 森田会長が車椅子を送ることを決意した動機を紹介しました。
- (右)ベトナムで当会を支援してくれているロンさんに一言挨拶をしてもらいました。その右の女性が 今回の通訳をお願いしたトゥイさんです。贈呈式以外にも家庭訪問や赤十字との打ち合わせで大活躍を してくれました。



病院の副院長である PHUNG VAN QUANG 氏が挨拶にたちました。

以下が副院長 QUANG 氏の発言要旨です。

- ・今日病院で贈呈式が開催出来て光栄です。
- ・当病院はベトナムの北部の山岳にある6省の患者 を治療しているところです
- ・これらの地域での車椅子のニーズが高いです。
- ・今回頂いた車椅子を見たらモダンで、良いものだ と思います。ベトナムで作れないものです。

- ・今回頂いた車椅子の用途を区別して使用します。一つは病院で治療のために数台を確保します。 また、その他は各家庭世帯へ渡します。
- ・車椅子の使い方や取り扱い方法をしっかりと受け取り家庭に説明したうえで渡します。
- ・送る会に感謝を申し上げます。

式典の後で副院長とお話をしました。「素晴らしい病院です」と言うと、「どこが素晴らしいと思いますか」との質問を受けました。ゆったりとした建物をみて「素晴らしい」と表現しましたが、「医療機器が不十分である」ことの意識が副院長にあったと後で気づきました。

子どもたちの様子です

















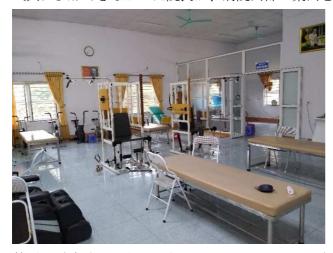




以上

ベトナム タイグエン整形外科病院の様子

タイグエン市での贈呈式はタイグエン整形外科病院の多目的ホールで行われました。公務のために 式典に参加できなかった院長が、病院内部の案内をしてくれました。





整形外科病院ということなのでリハビリのための部屋がたくさんあり、訓練に必要な器具が揃っているようでした。





様々な器具が用意されています。車椅子もあります。



テトを控えていて患者はほとんどいないとのことで した。左の少女は治療にやってきてリハビリの最中 でした。



贈呈式の会場となった多目的ホールのある 建物です。





庭にはいつでもだれでもがリハビリができるように訓練器具が 10 個くらい設置されていました。生憎の小雨模様とテト前で利用患者はいません。



(上) 食堂

(右) 白衣姿の人が院長です



以上

参考:贈呈式開催地 http://www.dtac.jp/asia/vietnam/spot_map.php

